

ショッピングセンターの賑わい

買い物天国のシンガポール。新名所となったマリーナベイに面した総合リゾートホテル「マリーナベイ・サンズ」には、1階及び地下1, 2に全面ガラス張りの巨大ショッピングセンターが店を並べている。それも世界を代表するブランドの店が集まっている。ゆっくり回れば一日楽しめること請け合いだ。そして町の中心街を走るオーチャードロード沿いにも、おしゃれで近代的な商業施設が延々と続く。観光客、富裕層だけではないが高級店が続く。

私は日本の平均的中産階級の一人と思っている。贅沢は出来ませんが生活するには不自由なく過ごしている。特にほしいものもない。何が食べたい物もない。したがってショッピングに出かけることもない。しかし女性は違うようだ。目的もなく？ブラブラと歩くことが楽しいらしい。まして気に入った商品でも見つけようものなら少々高くても買ってしまふ。

団地国家であるシンガポールは日常生活に必要なものは、身近なところに商業施設があり便利にできている。私もそうした庶民的なところを歩き、ついシンガポールの思い出になればとカバンを買ってしまった。このカバンはとてもシンガポールで作られているとは思われないが、メイドインはどここの国でも良かった。今そのカバンを持って仕事にあるいは人に会う時に重宝している。旅の思い出はこのカバン一つでも家の中でも電車の中でも遙かシンガポールの国を思い出させてくれる。買い物は確かにいいかもね。



撮影2014年秋

